

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	富沢文子
	全体計画			経費区分	-	内線	3354
事務事業名	10628 精神保健事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010100 健康づくりの充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費					
	事業	030000 精神保健事業					
事業目的				事業概要・効果			
自殺予防、精神保健の理解のための普及啓発活動を行う。また気軽に相談できる相談窓口を充実させる。地域関係者を含めた庁内関係機関と連携し、自殺予防対策を進めるため、ネットワークの構築を行う。				事業概要 心の健康づくりに対する意識を高めるため、健康づくり講座等の普及啓発活動の事業を実施する。 自殺予防対策の取組みとして、相談事業のほかに、地域関係者を含めた自殺予防対策連絡会議を実施する。 効果 ・心の健康を保ち、ストレスと上手に付き合う人が増える。 ・自殺者数の減少			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
自殺予防の普及啓発として心の健康づくりに関するパンフレットの全戸配布を行った。また、自殺予防週間や月間に合わせ、のぼり旗や横断幕の設置等キャンペーンの実施。	相談事業として、悩み無料ダイヤル（通話料無料）の通年実施のほか、うつ病の方の家族教室の実施。働きざかりのメンタルヘルズ講座を企業へ出向いて実施した。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
早期対応の中心的役割を果たす人材の養成として、ゲートキーパー養成（あなたの心に気づき隊）講座を開催した。また、心の健康づくり講座を開催し、普及啓発を行った。	平成21年度に策定した須崎市自殺予防対策計画を見直し、平成25年度からの5か年の須崎市自殺予防対策計画を策定した。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
こころの健康づくり講座において、家族のコミュニケーションの取り方に関する講座を開催した。また、自殺未遂者支援の取組みとして、市町村・病院・消防署等の関係者による検討会を実施した。	若年層の自殺予防対策や壮年期の働き盛りの層を対象にした自殺予防対策を実施する。昨年に引き続きこころの健康づくり講座の実施や、企業と連携して講座を開催する。

指標名	県統計による年間自殺者数				
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				0
	実績	15	10	11	11
指標選定の理由	こころの健康づくりの輪を広げる活動を推進した結果の指標となるため。				
最終年度目標の根拠	可能な限り実現させたいため。				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		552	658
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	412	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		140	658
人員数(人)	正規職員	2.4	2.1
	嘱託職員	0.3	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	16,459.2	14,401.8
	嘱託職員	817.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	17,276.7	14,401.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		17,828.7	15,059.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	281	こころの健康づくり講座、ゲートキーパー養成講座、働きざかりのメンタルヘルス講座等の講師謝礼
11節 需用費	74	相談窓口の広報カード印刷他
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	194	長野精神保健福祉協議会、須高精神保健福祉協議会の負担金
その他	3	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	360	こころの健康づくり講座、ゲートキーパー養成講座、働きざかりのメンタルヘルス講座等の講師謝礼
11節 需用費	36	研修会の消耗品他
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	198	長野精神保健福祉協議会、須高精神保健福祉協議会の負担金
その他	64	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	自殺者数を減らすため、悩んでいる人が周囲にいる時に対応できるゲートキーパーを今後も増やすなどの自殺予防対策を実施していく。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	自殺者数は昨年度と変化はない。平成26年度は自殺未遂者支援として、地域関係者が集まり検討会を実施した。検討会をきっかけに病院や開業医、消防と連携した未遂者支援が出来始めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	地域自殺対策強化事業補助金を活用し、事業を実施しています。来年度も引き続き補助金を活用し事業を実施していきます。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

こころの健康づくりに関する出前講座や市報等を実施したり、企業に出向いて働きざかりのメンタルヘルス講座を実施している。毎年新たな企業で講座が開催できている。今後も壮年期の男性や若年層を中心に、講座を開催していく。また、悩み無料ダイヤルも継続して実施していく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

自殺予防対策連絡会議を有効に活用し、自殺未遂者対策や引きこもり者の対策を進める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

地域関係者との連携で「心の健康」の理解者を増やすと共に、地域課題解決に向けた取り組みを継続する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--